

平成 30 年度 第 2 回和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会
＜議事概要＞

【概 要】

- ・ 日 時：平成 30 年 11 月 21 日（水）10：00～11：20
- ・ 場 所：和泉市コミュニティセンター 1 階中集会室
- ・ 欠席者：榎本行伸委員

【次第】

1. あいさつ
2. 審議事項
 - 1) 和泉市地域公共交通網形成計画素案について
 - 2) 南横山校区デマンド型交通実証運行結果の考察について
3. その他

【議事概要】

1. あいさつ

＜藤原委員長より、挨拶＞

本日は、お忙しい中、平成 30 年度第 2 回委員会にお集まりいただき、また、平素より本市の公共交通にご協力いただき感謝申し上げます。先日の台風 21 号においては、市内 4 万世帯を超える停電や街路樹の倒木による交通の寸断をはじめ、多くの被害があり、市民の移動を支える公共交通の重要性も認識するきっかけとなった。さて、本日の審議事項・和泉市公共交通網計画素案の作成においては、各検討分科会や関係団体の方にもご協力いただき、素案を取りまとめたところである。本計画素案の基本理念の実現に向けて市内公共交通ネットワークを構築できるよう、本委員会においてご審議いただき、来年 1 月にパブリックコメントを実施する運びとなっており、各委員に感謝申し上げます。また、昨年度から実施している南横山校区デマンド型交通実証運行結果の考察についてもご報告させていただく。本日も公共交通の活性化が図られるよう、ご審議のほど、お願い申し上げます。

2. 審議事項

1) 和泉市地域公共交通網形成計画素案について

内田議長：パブリックコメント前の素案であり、忌憚のない意見をいただきたい。審議に入る前にパブリックコメント実施時期を確認したい。

事務局：来年の 1 月 16 日（水）から約 1 か月間実施する予定でいる。

内田議長：本日、素案に対して大きな変更があった場合、対応の検討や修正する時間はあるのか。

事務局：軽微な修正のみ想定しており、大きな変更が生じるようであれば、パブリックコメントの意見と合わせて計画に反映したい。

内田議長：パブリックコメント実施開始時点では、必ずしも修正が反映されないことをご承知いただきたい。では、事務局より資料の説明をお願いしたい。

<事務局より、和泉市地域公共交通網形成計画素案及び当日差し替え資料に基づき説明>

内田議長：事前に目を通していただいているかと思うので、まずは専門的な立場の委員から気づいた点などを伺いたい。

後藤委員：93 ページの進捗管理について、PDCA を回す際には、各施策が推進された結果、目標の達成につながっている旨の説明をしていただきたい。

稲沢委員：関連して、毎年の委員会では、各事業の進捗状況を具体的に示してもらいたいと思う。また、93 ページには財源確保についても記載があり、国の補助事業も有効に活用していただき、事業を推進してほしい。

向井委員：幸校区では、自家用車やタクシーを利用する方が多く、公共交通機関はほとんど利用されていない状況にある。

松井委員：横山地区の付け替え道路には、南海バスが運行すると聞いている。それに伴い公共交通の路線等の変更が予想され、詳しい話がしづらい。

池辺委員：クルマの利用を抑えるということであるが、クルマに代わる移動手段は何か。

事務局：クルマを利用しないという意味ではなく、過度に利用しないという意味であることをご理解いただきたい。今後5年間に公共交通の利便性を高めるための調査や施策を推進し、利用しやすい環境づくりを進めていきたい。

池辺委員：自家用車を自制するという解釈で良いのか。

事務局：和泉市はもう少し先の話かもしれないが、高齢化の進行に伴い免許返納の増加が見込まれる。利用者数が落ち込む場合、路線の減便や廃止の可能性がある、免許返納が集中する時期に公共交通の利便性が低下しないようにしなければならない。クルマの利用に制限をかけるという意味ではなく、時間に余裕のあるときやマイカーの利用を必要としない時には、公共交通を利用いただくことで本市の持続可能な公共交通につながると考えている。

池辺委員：そのような考えも必要であるが、外出時に移動が困難な方の移動を支えることが大きなテーマであると思う。

宮本委員：緑ヶ丘校区は公共交通の利便性が高いため、提案する事項がない。ただ、和泉中央駅に送迎用自家用車を駐車する場所を確保してほしい。

内田議長：駅までの移動も公共交通を利用していただきたいと思う。

脇田委員：老人会においては、バスを利用するように行動しているところである。今後も公共交通の利便性向上に向けて検討をよろしくをお願いしたい。

内田議長：概要版を見ていただいて、表現等についての意見を伺いたい。

宮原委員：目標値には、公共交通の満足度が挙げられている。消費税が10%になったときに運賃の増額が予想され、目標を達成できるか心配である。

事務局：運賃だけでみると難しいかと思うが、トータルとして高めていければと思う。また、行政としても満足度を下げる目標ということは、設定しづらいこともある。難しいことは承知の上であるが、ご理解いただきたい。

内田議長：満足度の目標指標の定義について確認したい。2つ指標を設定しているが、地域バスはどちらにも含まれている。何かしらの意図があるのか。

事務局：「市域全体」と「地域」の公共交通を評価する視点で設定している。

内田議長：公共交通機関ごとに重みをつけずに評価するため、地域バスの満足度を高めると全体の満足度も高まる可能性がある。そのため、JRや泉北高速だけに依存しない評価方法になっている。満足度については努力目標として、今後、高めていく目標設定が妥当かと思う。

委員長：他の計画の事業においても数値目標を掲げている。市としても目標を持って事業に取り組んでいくことが重要であると考えており、交通事業者と連携し、より効果的な事業を進めていきたい。

内田議長：事前にすり合わせていると思うが、交通事業者から意見等はないか。

芥子委員：先程、マイカー利用について、ご意見をいただいたところであるが、財源の話も関連し、空のバスを維持することは難しい。ご事情が許す限り、また、月に1度でも良いので、バスを利用していただきたい。

松井委員：和泉市は南北に長く広がり、地域によって事情が異なる。地域レベルで考えていくことが必要と感じた。

内田議長：そのあたりを留意しながら施策を進めていただきたいと思います。では、今回の素案に対してパブリックコメントを実施することでよいか。

(了承)

内田議長：それでは、事務局においてパブリックコメントの手続きに入っていただきたい。では、次の審議事項について事務局より説明をお願いしたい。

2) 南横山校区デマンド型交通実証運行結果の考察について

<事務局より、資料に基づき説明>

松井委員：デマンド交通については、スケールの小さい話と思う方もいるかと思うが、地域によって適したやり方があると思う。父鬼は村の規模が小さくまとまりがあるため、地元の話がしやすい。それに比べて横山地区は12町あり、デマンド導入は難しいと感じている。

内田議長：これからどのように網形成計画の施策と絡めて、地域の交通を形成していく予定か。南部エリア全体の交通網をどのような仕組みで検討を進めるのか考えを教えてください。

松井委員：付け替え道路に南海バスが運行するため、地域の交通も大きく変わる。

事務局：南海バスが運行するとの話であるが、南海バスにも確認したところ、そのような話はないとのことであった。今回は南横山地区でデマンドの実証運行を行ったわけであるが、南部エリアに限らず、必要性が高い地域があれば、予算との兼ね合いも踏まえつつ、地域との対話を進めていきたい。

内田議長：市の全体的な話は活プロ委員会が担い、地域の個別的な話は必要に応じて組織構成を変更することも考えられる。今回の審議で何を決めればよいのか。

事務局：資料に記載しているとおおり、今回の南横山地区へのデマンド導入については見送ることとなるが、継続して交通ネットワークの構築に取り組んでいくことをご了承いただければと思う。

内田議長：せっかくですので本日、傍聴で来られている南横山校区の園田さんから何かご意見等はあるか。

園田氏：今回の結果は非常に残念である。自治会の全員参加の定例会で市から結果の説明をしていただきたい。メンバーは高齢化が進み、3年後には住民の多くが免許返納することが予想され、これまでの4年間、危機感をもってデマンド導入に向けて検討してきた。生産性向上もあるが、移動手段が無くなった時も考えてほしい。あと1、2年が勝負であり、財政的な問題もあると思うが、前向きに取り組んでいきたいと考えている。今回の結果のすべてを納得できるものではなく、今後も活プロ委員会は傍聴させていただきたい。傍聴の立場ですが、発言させていただき感謝する。

内田議長：財政負担のことになると市も関連する。地域の実情に応じて、どのような組織体で議論するのか検討してほしいと思う。

委員長：基本的なことは、市民・事業者・行政が一丸となって進めないと解決できない。今後ご協力いただきたい。

内田議長：その他、意見等はあるか。

後藤委員：今回の計画に沿って事業をきっちりと進めてほしい。

内田議長：審議事項2について、ご承認いただいて良いか。

宮本委員：地域と話し合っていていただいて、最終決定してほしいと思う。

内田議長：委員会として、資料の方向性について承知いただき、最終決定は地域との対話を踏まえて報告いただき、対応を決定するとしてよろしいか。

(了承)

内田議長：その他について、各委員から伝えたいことや意見はあるか。

3. その他

宮本委員：石尾中学校前のバス停の名前をわかりやすい名称に変更してほしい。

岩佐委員：地域住民の中にはバス停に親しみを持っている人もいる。また、コストも要することから、何かの改正時にまとめて変更するなど、変更時期を検討したい。

内田議長：その他、事務局から報告事項等はあるか。

事務局：パブリックコメントは平成31年1月16日（水）から2月15日（金）までの約1ヶ月間実施する。閲覧は市のHP、市政情報コーナー、道路河川室窓口、市内図書館への設置を予定している。意見は窓口、郵送、FAX、メールにて受け付け、市HPで回答する。最後に、次回委員会は来年3月ごろ開催する予定であり、パブリックコメントの意見を踏まえた最終案を審議いただきたいと思う。

内田議長：それでは、進行を事務局にお返りする。

事務局：本日は長時間にわたりご審議いただき感謝申し上げます。引き続き、本市、公共交通の活性化にご協力をお願い申し上げます。

－以上－

【会議の様子】

